



* 事前申込制イベントの詳細や申込方法は、美術館ホームページをご覧ください。

講演会

「密やかな美を見つける」

講師：大越久子氏（埼玉県立近代美術館学芸員）

5月3日（日）14:00より（13:30開場予定）

5階ワークショップルームにて／先着80名（当日12:00より1階にて整理券配布）／聴講無料（要展覧会チケット・半券、招待券、友の会会員証可）

ワークショップ（事前申込制）

「豆本づくり—手のひらの上の密やかな美」

講師：服部エリカ氏（豆本と消しゴムはんこ作家）

5月17日（日）13:00～17:00

5階ワークショップルームにて／対象：小学4年生～大人／定員：15名／参加費：2500円（画材費込・大人は要展覧会チケット）／申込締切：5月6日（水・祝）

市民美術講座

「小村雪岱—挿絵の愉しみ」

講師：西山純子（当館学芸課長）

5月30日（土）14:00より（13:30開場予定）

5階ワークショップルームにて／先着80名（当日12:00より1階にて整理券配布）／聴講無料（要展覧会チケット・半券、招待券、友の会会員証可）

担当学芸員によるショートレクチャー

4月15日（水）、5月6日（水・祝）14:00～

1階多目的室にて／先着30名程度／参加無料

美術館ボランティアスタッフによるギャラリートーク

会期中の毎週水曜日（4月15日、5月6日をのぞく）14:00より

先着15名程度（当日13:30より8階受付にて参加証配布）／参加無料（要展覧会チケット）

※水曜日以外の14:00にも開催することがあります

※混雑時には中止する場合があります

ちばしび託児サービスデー（事前申込制）

5月3日（日）13:00～16:00

同時開催

5階常設展示室

「千葉市美術館コレクション選」

休室日：第1・3月曜日（5月4日をのぞく）、5月7日（木）／企画展をご観覧の方は無料

4階子どもアトリエ

「つくりかけラボ20 西村優子 | 紙と手のあいだ」

2026年2月11日（水・祝）～6月7日（日）

休室日：第1・3月曜日（5月4日をのぞく）、5月7日（木）／観覧無料

次回展予告

「おどぎ話とモード / Fairy Tale MODE (仮)」

2026年6月27日（土）～8月30日（日）

小村雪岱

2026年

4月11日（土）～6月7日（日）

前期：4月11日（土）～5月6日（水・祝）

後期：5月 8日（金）～6月7日（日）

※会期中、大幅な展示替えを行います。

【休室日】毎週月曜日（5月4日をのぞく）、5月7日（木）

【開館時間】10時～18時（金・土曜日は20時まで）※入場受付は閉館の30分前まで

【主催】千葉市美術館、毎日新聞社

【協賛】DNP大日本印刷

【特別協力】川崎市立美術館

おせん 昭和16（1941）年＊没後の摺り／木版／埼玉県立近代美術館／前期展示

Komura Settai
in Perspective:
A Secret Sense
of Beauty

密やかな美かな

千葉市美術館
Chiba City Museum of Art



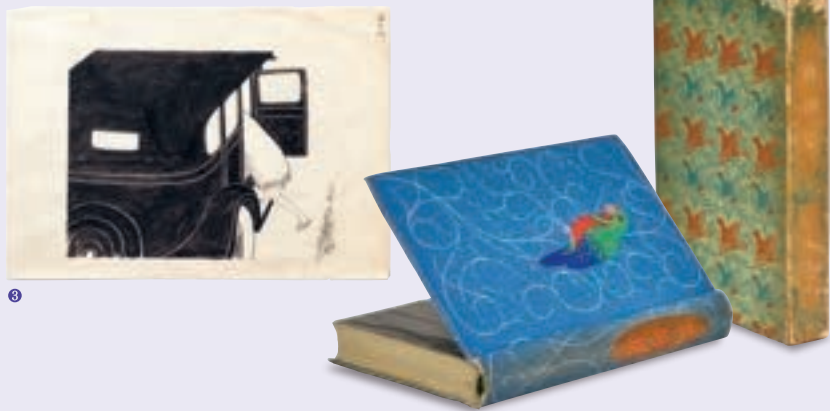
①

大正から昭和初期にかけて、日本画や書籍の装幀、挿絵や舞台装置、映画の美術考証など、幅広いジャンルで活躍した小村雪岱(こむら せつたい 1887-1940)。装幀では泉鏡花との共作に代表される繊細極まりない意匠で新境地を拓き、挿絵では邦枝完二らと組んで「おせん」や「お傳」といった稀代の美女を世にだし、舞台装置でも「一本刀土俵入」で新風を送るなど、いずれの分野でも洗練された仕事を見せ、大衆を魅了しました。本展では、最大のコレクションを誇る埼玉県立近代美術館をはじめ、雪岱の再評価に貢献してきた数々の優れたコレクションから優品を集めて雪岱の代表作を網羅し、雪岱の画業を「人」とのつながりから再考します。数多の文学者や松岡映丘・鏑木清方ら日本画家、また出版人や舞台人たちとの交流と協働に光をあて、互いの仕事へのリスペクトから雪岱の作品世界がいかにかに生み出されたかを見つめ、新たな小村雪岱像の構築をめざします。

※会期中、大規模な展示替えを行います。



②

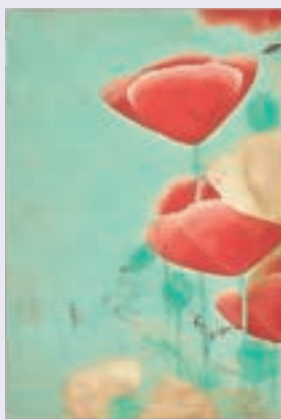


③

④



⑤



⑥



⑦



⑧



⑨



⑩



⑪

①春告鳥 昭和7(1932)年頃/絹本着色/個人蔵(埼玉県立近代美術館寄託)/前期展示 ②邦枝完二「江戸役者」挿絵原画画帖より 昭和7(1932)年/紙本墨画/東京国立近代美術館/後期展示
③泉鏡花「山海評判記」第114回 歌仙貝(7)挿絵原画 昭和4(1929)年/紙本墨画/泉鏡花記念館/後期展示 ④泉鏡花「新柳集」大正11(1922)年/泉鏡花記念館・牙島文庫/通期展示
⑤「日本映画」第1巻第1号 昭和4(1929)年/島田安彦コレクションアーカイブ/通期展示 ⑥「処女の友」第14巻第6号表紙原画「罌粟咲く」 昭和6(1931)年/紙本着色/川越市立美術館/後期展示 ⑦星祭り 制作年不詳/絹本着色/金子義事務所 金子修氏蔵/後期展示 ⑧青柳 大正13(1924)年頃/絹本着色/埼玉県立近代美術館/前期展示 ⑨「草枕絵巻」より「出征青年を見送る川舟」 大正15(1926)年頃/絹本着色/奈良国立博物館/前期展示 ⑩お傳地獄 入墨 昭和10(1935)年/木版多色刷/清水三年坂美術館/前期展示 ⑪「すみだ川」舞台装置原画 昭和6(1931)年/紙本着色/弥生美術館/前期展示

【観覧料】一般1,500円(1,200円)/大学生1,000円(800円)/小・中学生、高校生は無料

※障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料 ※()内は前売り、団体20名以上、市内にお住まいの65歳以上の方の料金
※リピーター割引:本展チケット(有料)半券のご提示で、会期中2回目以降の観覧料500円割引
※ナイトミュージアム割引:金・土曜日の18時以降は一般1,200円、大学生800円
※本展チケットで5階常設展示室「千葉市美術館コレクション選」もご覧いただけます。
※前売券はミュージアムショップまたはローソンチケット(Lコード:31866)、セブンイレブン(セブンチケット)、千葉都市モノレール「千葉みなと駅」「千葉駅」「都賀駅」「千城台駅」の窓口にて4月10日まで販売(4月11日以降は当日券販売) ※割引の併用はできません。

交通案内

◎JR千葉駅東口より
徒歩約15分/バスのりば7番より大学病院行または南矢作行にて「中央3丁目」または「大和橋」下車徒歩約3分/千葉都市モノレール県庁前方面行「葭川公園駅」下車徒歩約5分
◎京成千葉中央駅東口より徒歩約10分
◎東京方面から車では 京葉道路・東関東自動車道で宮野木ジャンクションから木更津方面へ、貝塚IC下車、国道51号を千葉市街方面へ約3km、広小路交差点近く
*地下に機械式駐車場があります(車高155cmまで)
*シェアサイクルスポットがあります

千葉市美術館 Chiba City Museum of Art

〒260-0013 千葉市中央区中央3-10-8
Tel.043-221-2311(代表)
<https://www.cma-net.jp>

